

「われわれの仕事は見えない事象を明らかにすること」と言う。工場の振動や騒音、スキリフトの保守点検、鉄筋コンクリート構造物の劣化調査など依頼は幅広い。住民を悩ませる振動の原因のほか、事故につ

ビジネス 最前線

ながら可能性のある不具合を見つけることもあった。入社十二年目。今も頭を悩ませるのが、予想外のデータが出た時だ。依頼主にとって不利益となる結果であればなおさら、なぜその

技術部係長

富山検査

細野 恭成さん(32)



会社メモ

昭和51年設立、非破壊検査や各種測定を手掛ける。吉岡裕一社長。本社は富山市上野新町。資本金1000万円、従業員73人。売上高は7億1100万円(平成19年3月期)。

毎週木曜日に掲載します

検査通じ安全守る

データが出たのかという根拠を依頼主に示さなければならぬ。検査時の気象条件、対象物が置かれている環境などあらゆるデータをヒントに、思考をめぐらせる。「毎日が勉強で、学生

時代に使った教科書や文献が手放せない」と話す。で、検査ニーズは増えてい

も、気付かない恐れがあるためだ。企業の安全意識の高まり

「自分たちが一つ一つ自信を持ってデータを示すことが、会社への信頼につながる。絶対に妥協はできない」と力を込める。